

文部科学大臣様

高校生の修学保障を求める要請署名

私たちは「高校生・生活費アンケート」にとりくんでいます。このアンケートから、私たち高校生の大きな不安の一つに進路問題があることがわかりました。全日制では24.7%の生徒が「経済的に進学できるか不安」に思っています。「家計の大変さを実感している」生徒は15.7%もいます。「家族に苦勞をかけてつらい」と多くの高校生が思っています。

高校生活において、学区や高校統廃合(再編整備)等により「通学費を工面するのが大変」と苦悩している高校生は9%もいます。深刻な問題としては「けがをしても病院に行けない」高校生が5%もいます。

高校生活において「教科書代」73%、「補助教材費」67.7%、本来公的責任で整備されるべき「施設設備費」72.9%、「図書費」68%と高校生活にかかる費用を「無償・一部補助してほしい」と高校生は回答しています。

夏には連日のように熱中症のニュースがながれます。暖房費が公費で支出されているのに対して冷房費を生徒から徴収するのはおかしな話です。

授業料が不徴収になったのにかわらず入学金は徴収されます。入学して高校生活(授業など)がスタートするわけですから、「入学金」は不徴収にすべきです。また、「進路指導費」ですが、在学中の進路指導は高校生全員に無償で指導すべきです。このような学校納付金が家計の負担になっています。学費を気にしていない高校生は一人もいません。学費が払えなくなり思い出づくりとして修学旅行に行き高校を退学していった友がいます。睡眠を削ってアルバイトをする友がいます。成績が下がると奨学金がストップしてしまうと悩む友がいます。そして、奨学金が返済できるのか不安です。

日本政府は国際人権規約の留保を2012年9月に撤回しました。私たち高校生がお金を心配することなく安心して学べるよう私たちは国際人権規約に基づきすみやかに教育費の無償化の実現を求めます。

記

- 1 所得制限をすることなくすべての高校生の授業料無償化にして下さい。
- 2 公的支出(施設設備費など)をすべきものや教科書代などを無償化して下さい。
- 3 給付制奨学金制度を創設して下さい。
- 4 高校卒業後、大学等に進学を希望する人のために高等教育の無償化をすすめて下さい。

氏 名	住 所

「お金がないと学校にいけないの？」首都圏高校生集会実行委員会
取扱い団体()